



探究する  
心を  
育む

# 「正解」という殻を破り、 探究の面白さを知る。

私立潤中学校前家庭科講師 布村沢子


### 家庭科の探究学習

**テーマ**  
「服と社会のつながりがもたらす課題を見つけよう」

**対象**  
中学1年生3学期(50分×4回)、  
1クラス46名(12グループ)

家庭科の中でも「衣生活」は、最新のテクノロジーや生物、化学とのつながりが深く、生徒たちにとって興味を持ちやすい分野です。課題発見をテーマに据えることで、単なる調べ学習ではなく、自分ならではの視点で課題を探し出そうとする探究心を育むことができます。

- 1 時限目**  
探究学習の説明と探究の動機づけ
- 2 時限目**  
図書館でのテーマ選びとグループワーク
- 3 時限目**  
探究のまとめとプレゼン資料の作成
- 4 時限目**  
3分間プレゼン(表現方法は自由)と全体での講評




図書館に用意した本。



図書館でのグループワークの様子。

## 多様でユニークな テーマ選びの誕生。

図書館には、既存の衣生活関連の本に加えて、中1の生徒たちが興味を持ちそうな本を揃えました。特に生徒の人氣が高かったのは、ネイチャー・テクノロジーに関する本です。この本をきっかけに、「ハスの葉と衣服」や「ネイチャー・テクノロジーで環境を救おう！」という探究が生まれました。スマートウェアや高機能繊維など、

衣生活に関して、現在進行形で起きている問題を扱った記事から、課題発見につながりやすいものをファイリングして、配布も行いました。服装心理学の記事から着想を得て「服のコミュニケーションツールとしての重要性」をテーマに選んだり、「捨てられる年10億点の新品の服」という記事から危機意識を持ち、「服の大量廃棄について」調べ始めた生徒もいます。

インターネットでリサーチして、「ヴィーガン・ファッション」や、藻類を素材とした「二酸化炭素を吸う」生きた

服」など、独自に探究テーマの選択にたどり着く場合もありました。

## 探究する動機は何か。

生徒たちは情報収集能力が高く、情報を整理してまとめる力に優れています。しかし、既知の事実にしし手を加えて小綺麗にまとめたようなプレゼンは、卒業しなければなりません。好奇心が高まり、思わず没頭してしまうように、最初のインパクトを与えたいと考え、映像を利用しました。

バンクラデシユのコストを抑えられた縫製工場が崩落するという大惨事を取り上げた12分ほどの短い動画です。生徒の気持ちを揺さぶるには、十分でした。劣悪な縫製現場

## 教員は見守ることに徹する。

図書館での探究にあてた2時間は、あつという間に過ぎて行きました。休

の労働環境や服の大量生産で汚染された河川の様子。服がもたらす社会問題の深刻さへの意識を高めた生徒も見られました。

もちろん、正義感が強く社会問題に敏感な生徒ばかりではありません。そこで、生徒が興味を持ちそうな「質問リスト」を作り、その質問の答えを探するという探究の形式もあることを伝えました。ここから、「服を食べる書虫と資源問題」「染料と環境汚染やアレルギー問題」「洗剤と環境問題」「武士の服装」といった探究のテーマにつながりました。

み時間まで夢中になって作業を続ける生徒も見られ、制限がほばない自由な学びは、生徒のやる気をここまで引き出すのかと驚きました。見守りと生徒の意見や取り組み方の尊重というファシリテーションに徹したことで、それまでは生徒が自ら手に取ることがなかったような数々の本に没頭している様子を見られました。生徒の探求心が深まっていました。

彼はそれまであまり目立たない存在でした。しかし、探究学習での熱量を目的の当たりした生徒たちから一目置かれるようになり、頼られ、尊敬される存在へと変わっていききました。

数年に亘り取り組んできた探究学習ですが、その学習成果は、当初のねらいや私の想像をはるかに超えたものになりました。丁寧な準備ときめ細かい学習環境作り、生徒を信頼し、見守る姿勢を取り続けること。「主体的で対話的な深い学び」のトライアルができたのではないかと思います。この経験が、生徒たちのさらなる成長につながると信じています。

新合繊の技術は世界トップレベルの日本。新合繊やナノテクノロジーが使われた繊維ってどんなもの？

新しい繊維で衣生活はどう変わっていくのだろうか？

「洗濯科学」ってどういう意味？ 服の汚れと洗剤の関係は？

これからの洗濯は変わっていくのだろうか？

好きなアニメ(ボカロ)のキャラクターは、どんなコスチューム？

アニメ(ボカロ)とコスチュームは、どんな関係なのだろうか？

質問リストの一部

## 独自性が光った3つの取り組み。

### 1

#### 骨折時の服のデザイン

出発点は、生徒自身の骨折体験です。デザイン画に描かれたデザインと素材の説明は、とても分かりやすく実用性に優れています。

### 2

#### 祖父から受け継ぐ菅笠の伝承に 関わる課題発見とその解決策

服の定義を広義にとらえ、被り物である菅笠についての探究に取り組んだ生徒。課題に取り組む真摯な姿勢と自分の想いを熱く語るプレゼンテーションの様子は、目に焼きついています。特に、探究から見出した課題と解決策の素晴らしさは秀逸だと言えます。



### 3

#### 医療防護服についての探究

初日から強い意思でテーマ選択を行い、コロナ対策の「防護服が駄目にする体の調整機能」について、水分・体温・精神の視点から分かりやすくまとめていました。時代を反映した内容でインパクトがあり、他の生徒も熱心に聞き入っていました。